

話題提供 1

総長解任から総長選考に至る流れ

- 解任の申出まで：教職員には解任理由の説明は一切なし
- 申出から解任まで：説明なし、選考会議による選考方法の改悪
- 解任後の動き：「電光石火」の総長選考開始と組合の対応

全体の大きな流れ

2018/12/18 名和総長体調不良、総長職務代理に笠原副学長
(7ヶ月)

2019/ 7/10 総長選考会議 文部科学大臣に総長解任の申し出
(11ヶ月)

2020/ 6/30 総長解任決定
(10日)

2020/ 7/10 総長選考過程開始
(2ヶ月)

2020/ 9/ 2 新総長決定 (予定)

北海道新聞 (道新) 2018/12/21

北大学長が体調不良
代理に笠原副学長
北大は20日、名和豊春学
長(64)の職務代理に笠原正
典副学長(63)を充てたこと
を明らかにした。
発令は18日付で、学内の
各部署に同日通知を出し
た。通知には、笠原副学長

総長休職から総長解任申出までの動き

年月日	北海道大学	北大総長選考会議	北大職組	報道 [無記載は道新]	名和前総長
2018/12/21				体調不良・代理	
2019/1/18					
2019/2/1				パワハラ疑惑?で体調不良 (財界さっぽろ)	
2019/2/6					
2019/2/10					
2019/2/12					
2019/2/14					
2019/3/19					
2019/4/6				北大学長パワハラか	
2019/4/8	職務代理 報道は大学発表ではない。選考会議で審議中				
2019/5/10					
2019/5/21					
2019/5/25					
2019/6/2					
2019/6/11					
2019/6/18					
2019/6/21					
2019/6/24					
2019/7/4					
2019/7/5	職務代理 記事は大学発表ではない、選考会議から連絡次第お知らせ			北大学長解任申し出へ、長期不在さらに	
2019/7/8					報道向けコメント
2019/7/9				学長パワハラ否定、コメント	メール
2019/7/10					
2019/7/11			情報開示を要求 (総長&職務代理)	解任文科相に申し出	
2019/7/12	職務代理 総長選考会議が解任申し出 (規定18条第1項第4号)			組合が情報開示請求、解任申し出北大求める	
2019/7/15				社説：学長不在事態収拾が急がれる。	
2019/8/1				渦中の北大総長が「事実はない」(財さつ)	

新聞報道後に、北大は自らの発信ではないと表明

新聞報道後に、北大は自らの発信ではないと表明

新聞報道後に、北大は自らの発信ではないと表明

総長休職から総長解任申出までの動き

年月日	北海道大学	北大総長選考会議	北大職組	報道 [無記載は道新]	名和前総長
2018/12/21				体調不良・代理	
2019/1/18		選考会議3			
2019/2/1				パワハラ疑惑?で体調不良 (財界さっぽろ)	
2019/2/6	調査委員会34件の非違行為認定する、報告書を提出				
2019/2/10	役員会 総長復帰拒否の決定				
2019/2/12		選考会議臨時2 (欠1)			
2019/2/14		総長宛てに調査報告書送付、関係資料の閲覧案内、陳述書提出要請			
2019/3/19		選考会議4			
2019/4/6				北大学長パワハラか	
2019/4/8	職務代理 報道は大学発表ではない。選考会議で審議中				
2019/5/10	総長から意見書提出される				
2019/5/21	意見陳述実施	選考会議臨時1 (欠1)			
2019/5/25		選考会議臨時2 (欠2)			
2019/6/2		選考会議臨時3 (欠1)			
2019/6/11		選考会議臨時4 (欠1)			
2019/6/18		選考会議臨時5 (欠1)			
2019/6/21	意見陳述2実施				
2019/6/24		選考会議臨時6 (欠1)			
2019/7/4	30件非違認定解任申出決定 (9名)	選考会議臨時7 (途中混雑1)			
2019/7/5	職務代理 記事は大学発表ではない、選考会議から連絡次第お知らせ				
2019/7/8					報道向けコメント
2019/7/9				学長パワハラ否定、コメント	メール
2019/7/10		選考会議・解任申出			
2019/7/11	役員会 総長選考会議からの通知の報告及び総長の復帰の判断について		情報開示を要求 (総長&職務代理)	解任文科相に申し出	
2019/7/12	職務代理 総長選考会議が解任申し出 (規定18条第1項第4号)			組合が情報開示請求、解任申し出北大求める	
2019/7/15				社説: 学長不在事態收拾が急がれる。	
2019/8/1				渦中の北大総長が「事実はない」(財さつ)	

新聞報道後に、北大は自らの発信ではないと表明

新聞報道後に、北大は自らの発信ではないと表明

「財界さっぽろ」報道

- 2019.2に最初の報道
- 解任申出後、その後も続報
- いずれの見出しも「パウハラ」

2019年2月号

情報を先取り、タブーに挑戦

2月号 定価 770円 (消費税別)

財界さっぽろ

元大グループは清算済みを主張
鹿鳴館で工事未払いトラブル
北海道企業総覧 道内上場企業54社の決算情報

2019年8月号

情報を先取り、タブーに挑戦

8月号 定価 820円 (消費税別)

財界さっぽろ

パウハラ問題の北大総長が「事実はない」
タママウントレースイ
北海道企業総覧 道内上場企業54社の決算情報

2019年2月号

情報を先取り、タブーに挑戦

2月号 定価 770円 (消費税別)

財界さっぽろ

パウハラ問題の北大総長が「事実はない」
タママウントレースイ
北海道企業総覧 道内上場企業54社の決算情報

2019年8月号

情報を先取り、タブーに挑戦

8月号 定価 820円 (消費税別)

財界さっぽろ

パウハラ問題の北大総長が「事実はない」
タママウントレースイ
北海道企業総覧 道内上場企業54社の決算情報

2020年9月号

情報を先取り、タブーに挑戦

9月号 定価 790円 (消費税別)

財界さっぽろ

総力衆院解散近し
北海道政治とカネ
北海道企業総覧 道内上場企業54社の決算情報

2020(最新号)

情報を先取り、タブーに挑戦

9月号 定価 790円 (消費税別)

財界さっぽろ

総力衆院解散近し
北海道政治とカネ
北海道企業総覧 道内上場企業54社の決算情報

2020年8月号

情報を先取り、タブーに挑戦

8月号 定価 840円 (消費税別)

財界さっぽろ

鈴木直道知事と道議会・マスコミの絶対零度な関係
北海道企業総覧 2020
北海道企業総覧 道内上場企業54社の決算情報

2020年9月号

情報を先取り、タブーに挑戦

9月号 定価 790円 (消費税別)

財界さっぽろ

総力衆院解散近し
北海道政治とカネ
北海道企業総覧 道内上場企業54社の決算情報

パウハラ疑惑で体調不良?
OBも悩ま 北大総長の進退

やっばり進退懸念 立憲民主の思考停止
和泉晶裕が、知事選に出馬できない理由
本誌特別! 道議選全區、乱戦情報、ほか

鈴木直道知事と道議会・マスコミの絶対零度な関係

新北海道スタイルCM、文藝春秋インタビュー...

JTBが孫請け、検証! 道庁のコロナ

発覚から1年半 総長パウハラ疑惑で初めて口を開いた北海道大学

湖池屋 佐藤章 著
湖池屋は成立しない

北海道観光振興機構 小磯修二 著
危機の中から新たな需要を見い出す

「幼なじみ」が中川俊男日本医師会長の素顔、広田啓二氏に迫る、農協の憲法J A役員定年にメス?

コンドレル×デアリング多々
北海道企業総覧 2020

インタビューハイ金道王者候補たち「2」の裏

特地方のジュニア社長・役員「判記」
岩見京史知 増川上川 / 増内泰吉 江刺聖一 / 宮小牧高直 小柳徳孝 / 新ひたか高原

わんにゃんハート会員大募集!

道新2019/4/6

北大学長パウハラか

昨年訴え調査委が審議

は5日、名和豊喜亭が同大職員にパウハラメント(パウハラ)した疑いがあるとして、審査委員会を設けて審議することを明らかにしている。調査結果が1月内にも調査結果が「長選考会議(議長・石山喬日本軽金属ホールディング

朝日2019/4/7

北大総長パウハラか

学内の調査委が審議

旭大学(札幌市北)と和豊春総長(64)が「ラスメント」を行ったとあるとして、学内審査委員会が立ち上がり、あることが6日、報に載った。名和総長は北大大学院に調査委員会が設置されたこと、事実関係の調査を行っているという。疑念を払った。997年に工学研究科助教授となり、同科教授、工学

毎日 2019/4/7

パウハラ：北大学長に疑い
昨年末から休職 調査委設置

読売 2019/4/6夕刊

北大学長 パウハラ疑い
調査委 関係者聞き取り

平成31年4月8日

総長職務代理

4月6日並びに7日に本学総長に関する記事が報道されましたが、これらのことについては、大学として発表した事実はありません。

なお、事実関係については、以下のとおりです。

平成30年10月末、名和総長の言動に対する訴えがあり、11月初に総長選考会議を開催し、総長選考会議の下に調査委員会を設置して、調査を行うことが決定され、現在、同会議において審議中です。

道新2019/7/5

北大学長解任申し出へ

選考会議、パワハラ認定

道新2019/7/9

北大学長、パワハラ否定

「聴かない」調査を批判



名和豊春氏

北大学の名和豊春学長(65)は、今年12月からの任期満了まで、全期間「パワハラ」を認めないという調査結果を「聴かない」と批判した。調査結果は、学長がパワハラを認めたという事実を認めないというもので、調査結果を「聴かない」と批判した。調査結果は、学長がパワハラを認めたという事実を認めないというもので、調査結果を「聴かない」と批判した。

道新2019/7/11

北大学長の解任 文科相に申出書

選考会議

名和豊春学長(65)は、文科相に「パワハラ」を認めたという調査結果を「聴かない」と批判した。調査結果は、学長がパワハラを認めたという事実を認めないというもので、調査結果を「聴かない」と批判した。

道新2019/7/11

解任申し出 北大認める

副学長「大変遺憾」

北大学長(65)は、文科相に「パワハラ」を認めたという調査結果を「聴かない」と批判した。調査結果は、学長がパワハラを認めたという事実を認めないというもので、調査結果を「聴かない」と批判した。

朝日2019/7/6

北大総長の解任申し出へ

選考会議、パワハラ疑い審議

「パワハラ行為ない」
北大・名和総長がコメント

選考会議、パワハラ疑い審議
北大・名和総長がコメント

朝日2019/7/9

北大・名和総長がコメント

朝日2019/7/12

パワハラを認定
総長解任求める
文科相に北大選考会議

令和元年7月5日

総長職務代理

本日 (7/5), 本学総長に関する記事が報道されましたが、これについては、大学として発表したものではありません。

なお、本件に関して、総長選考会議からは、まだ連絡が来ておりませんが、連絡があり次第、お知らせします。

令和元年7月12日

総長職務代理

去る7月10日に、本学総長選考会議が文部科学大臣に対して、総長選考会議
規程第18条第1項第4号による総長の解任を申し出たことをお知らせします。

今後は、文部科学省において国立大学法人法及び行政手続法に則り手続きが
進められます。解任の申出の内容については、文部科学省における手続きに影響
を与える恐れがあることから、明らかにすることはできませんが、本学としては
その推移を見守りつつ、大学運営に支障がないよう引き続き対応します。

解任の申出から解任決定まで ～北大職組の取り組み～

2019年度

- 7/10 総長解任の申し出
- 7/11 総長進退問題に関する情報開示要請
- 9/12 情報開示・説明会・業務監査要求書
- 10/ 8 総長解任シンポ
- 10/24 総長職務代理、会見で「総長選考会議に権限と責任、同会議議長は今の時期の説明は適切でないとの考え」

(2020)

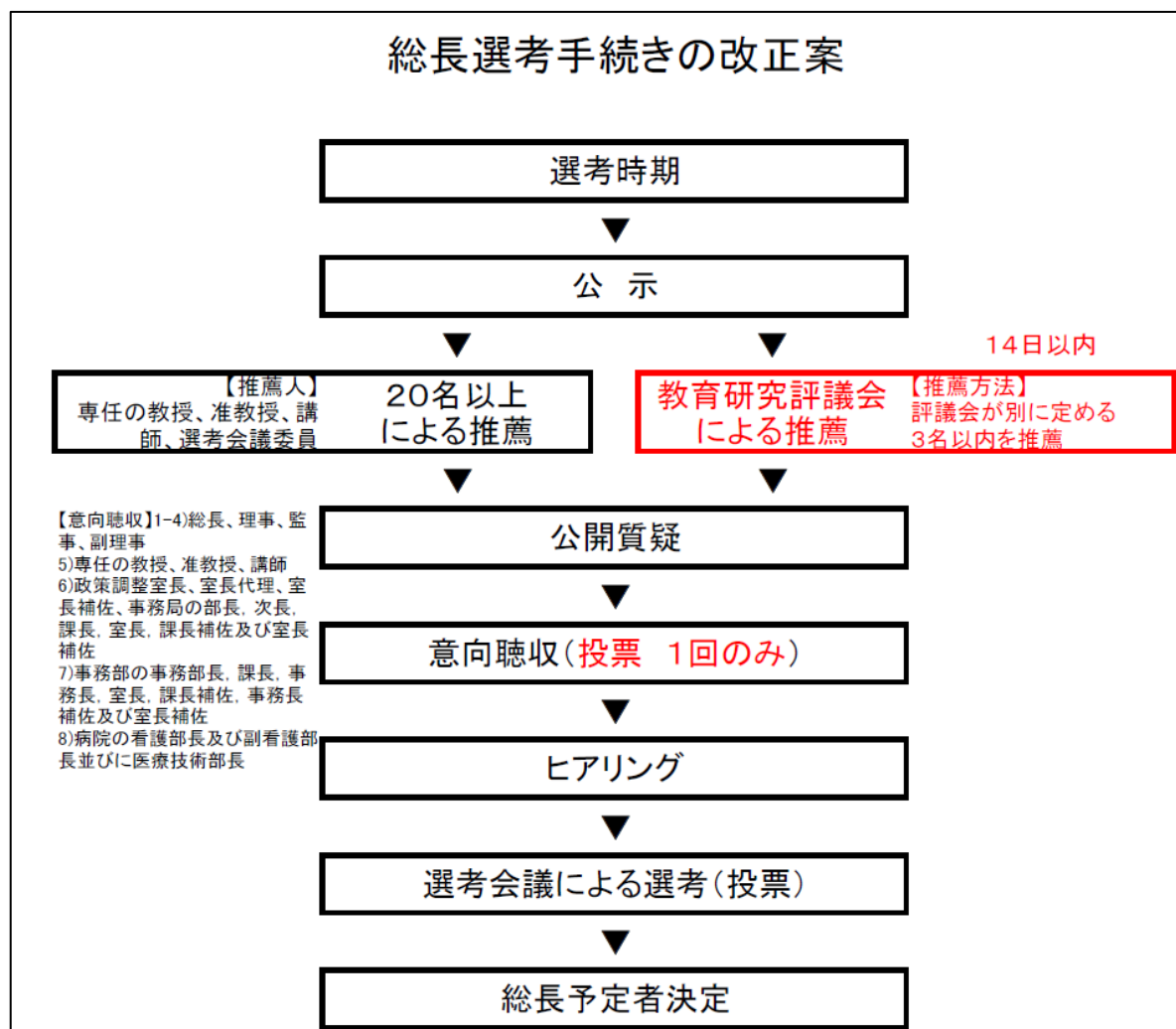
- 1/14 声明「総長選考方法の道理なき変更に対する」
- 2/ 7 声明「北大総長選考会議による学内合意なき総長選考方法の変更を糾弾する」

2020年度

- 5/15 声明「意向投票の1回化の撤回・解任申出に関する説明・会議自身の刷新を総長選考会議に求める」
- 6/30 文部科学大臣による総長解任
- 6/30 声明「文部科学大臣による北大総長の解任の報を受けて」（解任問題の学内議論後に総長選出すべき）
- 7/ 1 北大、解任に係る記者会見
- 7/13 声明「総長選考に先立ち、総長選考会議の刷新を求める」
- 7/12,27 質問書
- 8/11 声明「学内民主主義を尊重する新しい総長を」
- 8/15 緊急オンライン学習会

解任の申出から決定間の選考会議決定 ～総長選考方法の改悪～

- 2019/12/16総長選考会議で決定
 - 評議会による推薦
 - 意向投票 1 回化
- その後、評議会が推薦方法を決定しなかったため推薦は従来通り



6.30総長解任決定後に公開された文書

- 「国立大学法人北海道大学名和豊春総長の解任について」
2020.7.1
 - 7.1評議会で石山選考会議議長説明(11:00-11:39web会議)で使用
https://www.hokudai.ac.jp/news/pdf/20200701_newsDismissal.pdf
- 「総長解任に係る記者会見」 (20ページ)
 - 7/1 13:58～15:38に行なわれた記者会見の文字起こしデータ
https://www.hokudai.ac.jp/bureau/gakunai/topics/pdf/20200706_kainin.pdf
- 組合からの質問と大学側の回答
 - 7月13日の質問、7月20日の回答
 - 7月27日の再質問、7月31日の回答

さらに前から、解任に至る事実確認はこれから

年月日	北海道大学	北大総長選考会議	名和前総長
2018初め	総長の不適切言動を全理事が認識		
2018/3月	理事が総長に口頭で注意喚起、是正を求めた 役員会終了後、総長が役員と幹部職員らに謝罪		
2018/7月上旬	職員から理事に、総長が不適切な言動との申告		
2018/8月下旬	顧問弁護士から理事に他の非違行為の疑いとの報告 (顧問弁護士への訴えは公益通報ではないが、通報者などについては守秘義務で答えられない。)		
2018/12		議長が非違行為の疑いを知ったのは9月下旬。 個人的に面談し問題点を指摘したが辞任は迫っていない。	
2018/10/22	顧問弁護士から理事・副学長3名宛に不適切行為の資料送付(複数の職員などからの相談)		
2018/10		議長宛に理事から非違行為の検討依頼	
2018/11/6		選考会議臨時1で調査委員会の設置を決定	
2018/11/29		外部弁護士3名による調査委員会を設置	
2018/12		議長が「総長から辞表提出に関する誓約および要請について」「辞任願(写)」受理	12/9辞職願提出
2018/12/18	役員会で職務代理を決定		自宅療養の診断書提出
2019/2/6	調査委員会34件の非違行為認定する、報告書を提出		職務復帰の申出
2019/2月初旬			
2019/2/10	役員会 総長復帰拒否の決定		
2019/2/12		選考会議臨時2	
2019/2/14		総長宛てに調査報告書送付、関係資料の閲覧案内、陳述書提出要請	
2019/3/19		選考会議4	
2019/5/10			陳述書・意見書提出
2019/5/21		意見陳述1実施(選考会議臨時1)	
		5/25(臨2),6/2(臨3),6/11(臨4),6/18(臨5)	
2019/6/21		意見陳述2実施(臨6) 6/24(臨7)	
2019/7/4		解任申出を議決	

調査委員会は中立・公平な立場で調査したが、名和前総長の弁解を聴取しなかったのは、聴取しなくとも事実を認定できると判断したから

事実に基づく検証が大学の使命

－ 記者会見以降にわかったことと疑問

- 7.1記者会見で「**パワハラ**だという認識をもっているのか」という質問に対する石山議長の回答
 - － **パワハラというよりは、総長の行ったことすべてをひっくるめて、総長としては不適任な言動だということを評価しています。1件1件をパワハラというような我々は認定はしておりません**－
- 北大職組質問への回答で、前の説明が覆っている。記者会見では事実在即した説明がなされていないのではないかという疑念。
 - 議長が、総長の非違行為に関して知った時期は**2018年10月**か、それ以前か
 - なぜ「中立・公正」の調査委員会は、総長への聞き取りをしなかったのか
 - なぜ、**2018年12月**総長からの「辞表提出に関する制約および要請について」「辞任願（写）」が辞意として受け取られなかったのか？
 - 「辞任」ではなく「解任」が必要だったとすれば、その理由は何か？
- 顧問弁護士はどのような権限で業務を行なっているのか？

記者会見の場での説明は信頼しうるか？

- 記者：新しい総長のことなんですけど、目途としていつぐらいには総長を決めたいとか、そういった目途があったら教えてください。それからあと、こういう形でやりたい、ということを考えていらっしゃるということだったんですけど、その内容も教えていただければと思います。
- 石山：いつまでというのは、はっきり私の方から申すことはできないのですが、なんとか今年中には詰めていきたいと思っています。
- 記者：今年中に選考を？
- 石山：いけたらいいなと思っています。



日 程

項目	期日
候補者の推薦届出開始	令和2年7月22日（水）
候補者の推薦届出期限	令和2年7月29日（水） 17時まで
候補者の所見等提出	令和2年7月30日（木） 15時まで
意向聴取対象者から候補者への質問の募集	令和2年7月30日（木） ～令和2年8月3日（月）
候補者説明会	令和2年8月4日（火）
公開質疑（意向聴取対象者向け）	令和2年8月18日（火）
意向聴取（意向聴取対象者による投票）	令和2年8月28日（金）
選考会議による総長候補者へのヒアリング	令和2年9月1日（火）
選考会議による総長予定者の決定	令和2年9月2日（水）

現時点

2020/8/11 【声明】

学内民主主義を尊重する新しい総長を

～総長解任に関する大学側の誠意を欠いた回答を受け、総長選考過程に際し訴える～

- 大学組織全体でこの問題に向き合い再発を防ごうという姿勢が皆無である。文部科学大臣が総長解任の決定を下そうとも、守秘義務・個人情報を理由に大学がその構成員に十分な説明をしないことは、学内民主主義を軽視する極めて由々しき問題であることに変わりはない。
- 意向投票で過半数の得票を獲得した候補が総長となってきたこれまでとは異なる判断を、総長選考会議が下す可能性が高まった。総長選考会議の石山議長は、一番票を集めた方以外の候補を学長として選出するということもあり得ると答えている。このように学内構成員の意向を軽視することを明言する議長の下で、総長解任の申出を決めた1年前とほぼ同じ体制のままで総長選考会議が次の総長選考を行なうことは、学内民主主義を否定するものであり、我々は現在進められているような総長選考に反対であることを再度表明する。
- 今般の総長選考過程がそれ自身に極めて大きな問題を孕んでおり、選考過程を進めることに反対であるが、新しい総長が、名和前総長解任の全過程を大学として検証し、大学の自治と学内民主主義を守り発展させるよう引き続き取り組む。

2020/8/11 声明と共に公開質問問状

質問1 【総長解任過程の検証について】

今回の総長選考は名和前総長が解任されたことに端を発しています。しかし、この解任に至る経緯は構成員に十分に説明されておらず、学内民主主義が軽視されています。また、我々教職員の中には、守秘義務や個人情報等を理由に、自らへの嫌疑が十分説明されることなく、身に覚えのない不当な処分が下されるのではないかと懸念も起きつつあります。このような懸念を払拭し、教職員が納得するためにも、名和前総長の解任過程に関して、学内に検証の場を設けるべきではないでしょうか。お考えをお聞かせください。

質問2 【総長選考方法の変更について】

2019年12月総長選考会議は選考規定を変更し、学内意向投票は1回きりとなりました。このことは、これまで過半数の得票を得るまで繰り返し行われてきた意向投票の意味を大きく変更します。この変更は、政府の「骨太方針2019」の「各大学が学長、学部長等を……意向投票によることなく選考の上、自らの裁量による経営を可能とするため……国は……各種制度整備を早急に行う」との文言に沿うものです。このような国策を先取りする形で大学が変質していくことが危惧されます。大学の自治、学内民主主義をどのように理解し、これからの大学運営に学内構成員の意向をどう反映させていこうとお考えでしょうか。意向投票有権者の範囲などを含めてお答えください。

質問3 【新型コロナ】、質問4 【超過勤務】、質問5 【非正規雇用職員】、
質問6 【教員人件費】、質問7 【軍学共同】、質問8 【北大の歴史】

8 / 20 の回答締め切り後に公開